

以下、ミラーン堰建設前の状態を示す写真です。問い合わせもあったので、現在との比較のために送ります。

護岸始点から上流側 420mの状態。現在 U 水制群がある場所。交通局の請負が、下流向きの非越流型水制を置き、岸边に流方向が向いて崩壊寸前であった。2014年6月21日撮影。現在は PMS の手で撤去、半越流型上向き水制で土砂が堆積、国道は完全に保護されている。



ミラーン護岸 300m地点。2005 年頃、Ihsan という現地団体が行った連続堤防。2014 年 6 月 21 日撮影。堤防全体が河道の外縁で、激しく洗掘され、着工時は水深 3~4mの激流をなしていた。工事開始後、間もなく崩落、現堤防に置き換えられた。2014 年 6 月 21 日撮影。



現ミラーン護岸 800 地点からの眺め。崩壊した堤防の下流端から洪水が流入、畑や民家を洗っていた。2014 年 6 月 21 日撮影。



田畑と家屋流失直後の 1200m地点。着工直前の状態。侵食線がそのまま護岸線となっている。2014 年 9 月 22 日



工事前の取水口。年々数十メートル後退しながら、作られていた。(現取水口地点) 2014年6月21日



余水吐き（現排水門の位置）。用水路自身が洪水流を取り込み、村落の侵食を許していた。2016年5月17日



同排水路。流量の調整がきかないため、大洪水時にしばしば溢水地点となった。2016年5月17日

